

一般社団法人日本看護系大学協議会 会員校
社員（代表者） 各位

一般社団法人日本看護系大学協議会
代表理事 鎌倉やよい
看護学教育質向上委員会委員長 叶谷由佳



看護学教育質向上委員会実態調査 ご協力をお願い

平素より本会の活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022 年度 JANPU 定時社員総会事前説明会で提示しました、本年度の重点事業計画の 1 つ：「今後の看護学教育のありかたを構想し、具体的な発展の道筋を構築する」の取り組みとして看護学教育質向上委員会では次の 2 つについて活動を進めてまいりました。

- 1) 会員校における教育の DX 化の促進に資するよう、会員校間の情報共有と協働の方法を検討する
- 2) 実習前 CBT/OSCE システムの日本看護系大学協議会版（仮称）の開発を進める

<https://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/2-1%EF%BC%9A2022JANPUsohkai.pdf>

<https://www.janpu.or.jp/activities/committee/#a1>

そこで、臨地実習の現状の把握と看護教育 DX 化に向けての 2 つの調査を実施いたします。時期的にお忙しいことと承知しておりますが、重要な内容でありますので、何卒アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【調査 A】看護学教育における臨地実習に関するアンケート調査

【調査 B】看護教育 DX 化に向けた実態調査

【調査 A】看護学教育における臨地実習に関するアンケート調査

<背景>

大学教員の皆様におかれましては日々、効果的な教育方法の研鑽に尽力されていることと存じます。昨今の、病院入院日数短縮化による医療密度の増加、医療安全体制の規制強化、患者の権利意識の向上といった背景から、徐々に学生が臨地で参加型実習ができにくくなっているように思われます。そこに新型コロナウイルス感染症のパンデミックが加わり、実習を中止せざるを得ない状況ともなりました。しかし、同時に学内での実習補完方法の開発も進みました。

<調査実施の目的>

看護学教育質向上委員会（以下、委員会）では貴重な実習機会を効果的なものとするために、学内での実習補完教育も活用した臨地参加型実習を推進する必要があると考えています。

そこで、臨地実習についての現状と大学教員皆様のご意見をお聞きする下記アンケートを作成しました。委員会では、このアンケート結果を基に、看護学教育の質向上のために必要な支援体制（CBT・OSCE など）の提言や教材開発（DX など）の示唆を得たいと考えております。アンケートは、まず属性をお尋ねし、「Ⅰ．臨地実習の実態に関する質問」、「Ⅱ．臨地参加型実習を行う場合の準備体制に関する質問」で構成されます。

<文部科学省高等教育局医学教育課の協力>

なお、本アンケートは文部科学省高等教育局医学教育課の協力を得て実施しております。調査結果は 3 月 25 日（土）開催の報告会にて会員校の皆様にご報告させていただくとともに、文部科学省高等教育局医学教育課にも提供いたします。

調査 A 回答者：各看護系大学代表者（=社員）様 1 名がご回答ください。

【調査B】看護教育DX化に向けた実態調査

<調査実施の目的>

会員校における看護教育DX化を促進させるために役立つ基礎資料を得る目的で、「看護教育DX化に向けた実態調査」を実施いたします。DX導入の実態とニーズを把握し、プラットフォーム構築の予算獲得につなげることを検討しております。授業担当者が目指しているレベルや不足しているものを把握するため会員校に所属する全看護教員にご回答をお願いしております。

調査B回答者：会員校に所属する全看護教員にご回答をお願いしております。※回答は無記名です。

(看護教員：看護師、助産師、保健師の免許を取得している常勤の教員)

1. 回答方法 下記 URL から WEB にてご回答ください。

■調査A <https://jp.surveymonkey.com/r/3QX6WM6> (回答者:各看護系大学代表者 (=社員) 様 1名)

■調査B <https://forms.office.com/r/EeAgtkhWBc> (回答者: 会員校に所属する全看護教員)

2. 回答期限 調査A、調査Bとも、**2023年2月24日(金)まで**にご回答ください。

3. 問い合わせ先 日本看護系大学協議会 Email : office@janpu.or.jp

※お問い合わせはメールでお願いいたします。